



PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート（第19回）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年11月26日（日）10:00-11:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：5名（ディベーター4名、ジャッジ1名）

ディベートの様子

今月のキーノートディベートの論題は、“**Japan should lower the starting age for English education.**”（日本は英語学習の開始年齢を引き下げるべきである）でした。

肯定側は、日本語で考えて英語で話すのではなく、英語で考えたり感じたりしてそれを英語で伝える力の重要性やグローバル市民として英語力を身につける重要性について主張し、否定側は教える側の負担の増加と国語などの他の科目への悪影響について説明しました。そもそも受験など明確な目的があれば学習開始が多少遅くとも追いつけると主張する否定側に対し、肯定側も早期学習開始が与える影響について説明しました。また、YouTube など無料で使える教材が増えているから教員の負担は問題ないと反論する肯定側に対し、現状の小学校でさえ、英語の授業のカリキュラムを考えたり、授業準備をしたりするのは大変と説明するなど、現場の状況を詳しく描写した説明が繰り返されました。



ディベートの様子



ディベート後のエアークラップ

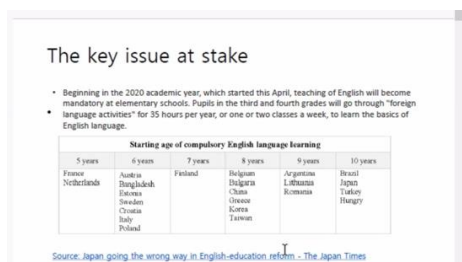
キーノートレクチャーでは、大阪公立大学現代システム科学研究科准教授の楊眞淑氏にご登壇いただき、論題についてご解説いただきました。

楊氏は自身も即興型英語ディベートの経験者でもあり、ディベートで議論された内容も絡めつつ、人類学や社会学などさまざまな学問領域の観点から論題の Pros（肯定意見）・Cons（否定意見）、そして研究で議論されている事柄についてご説明いただきました。



キーノートスピーカのご紹介

質疑応答では、DeepL や ChatGPT などのテクノロジーを考慮した際の英語学習の必要性についてや、生徒への英語学習の動機づけなどについても質問の手が上がりました。また、今回の参加者は英語教育に携わっている人が多く、即興型英語ディベートの関心などについても情報交換が行われました。



キーノートレクチャーの様子



質疑応答の様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・レクチャーしていただいた3観点からこの議論を分析するのは大変興味深いと思いました。
- ・自分の専門分野に関することだったので、とても興味深かったです。
- ・今回の論題は職業柄、とっつきやすいものでしたが、実際にやってみると「身近すぎてなかなか思考が深まらない」感じがしました。
- ・英語教育やディベートを始めたきっかけについてたくさんの先生方からお話をお伺いできて、とても楽しかったです。自分自身が英語ディベートをやるモチベーションが上がる会でした。
- ・久しぶりにスピーチをやらせていただき、自分の勉強になりました。これからも続けて参加したいと思います。よろしくお願い致します。